

科目名		腫瘍免疫学 (がん専門医師養成科目)	
科目責任者	長 田 良 雄	(免疫学・寄生虫学 教授)	
担当者	吉 田 安 宏	(免疫学・寄生虫学 准教授)	
開講時期:	1年次	単位数:	2 単位
		時間数:	90分× 15 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>免疫システムは外来異物に対する防御機構であるのに対し、ガンは自己の細胞における遺伝子異常などが引き金となり異常増殖がはじまるという相違点を踏まえながら、腫瘍に対する免疫機構の役割を分子レベルで理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 腫瘍免疫に関わる免疫担当細胞(1-T細胞)について概説できる。</li> <li>2) 腫瘍免疫に関わる免疫担当細胞(2-マクロファージ)について概説できる。</li> <li>3) 腫瘍免疫に関わる免疫担当細胞(3-樹状細胞)について概説できる。</li> <li>4) 腫瘍免疫に関わる免疫担当細胞(4-NK細胞)について概説できる。</li> <li>5) 腫瘍免疫に関わる免疫担当細胞(5-制御性T細胞)について概説できる。</li> <li>6) 免疫監視機構について、関与する細胞を含め総括できる。</li> <li>7) ガン免疫監視機構のチェックポイントを分子レベルで説明できる。</li> <li>8) 担ガン状態におけるサイトカインプロファイルについて概説できる。</li> <li>9) ガン抗原の例を挙げ、更にガンワクチンについて説明できる。</li> <li>10) ガンによる免疫抑制機構解除を標的とした、抗体医療について概説できる。</li> </ol>			
● 評価方法	知識修得60%、プレゼンテーション20%、質疑応答20%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		